



2 動物のからだのつくりと運動 (A)

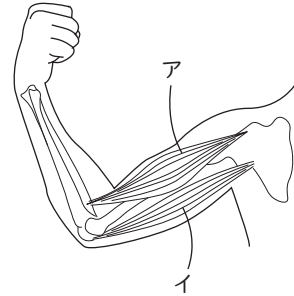
I 次の問いに答えましょう。

(1) 下の ①～③ は、きん肉、ほね、関節 のどれについての説明ですか。それぞれ答えましょう。

- ① とてもかたく、からだをささえる役わりをしている。
- ② ほねとほねのつなぎめで、からだの曲がる部分。
- ③ 力をいれていないときは やわらかいが、力をいれると かたくなる。

(2) うでを曲げるとき、右の図の ア、イ は
どちらが かたくなっていますか。

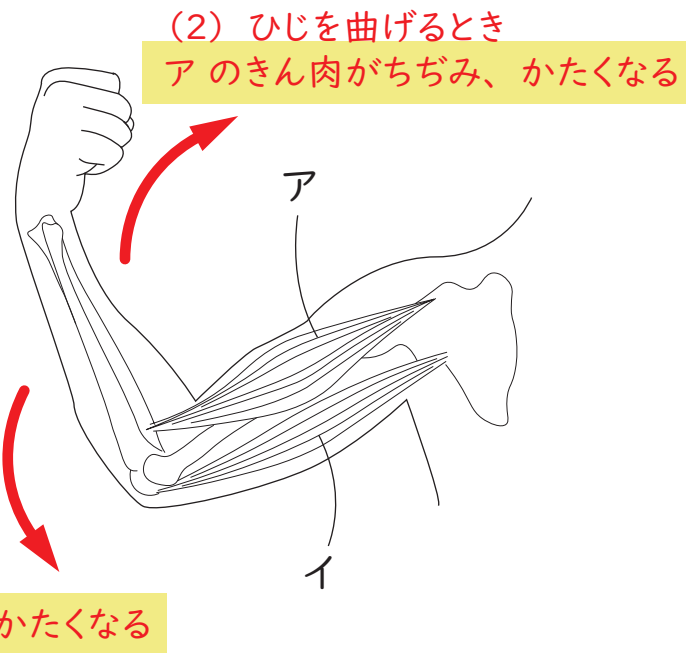
(3) うでをのばすとき、右の図の ア、イ は
どちらが かたくなっていますか。



(4) きん肉がかたくなっているとき、きん肉は
のびていますか、ちぢんでいますか。

(1)	①	ほね	②	関節	③	きん肉
(2)		ア	(3)	イ	(4)	ちぢんでいる

(4) きん肉はちぢんでいるときに
かたくなっています。
きん肉はのびている
(力がはいついていない) ときは
やわらかくなっています。





2

動物のからだのつくりと運動 (A)

2 次の問いに答えましょう。

(1) 頭のほねは (A) を守っており、むねのほねは (B) や肺^{はい}を守っている。

A、B に当てはまる、からだの部位を答えましょう。

(2) ほね のない生き物はいますか。

(3) 鳥は、むねのきん肉が、ほかの場所に比べて、とても発達^{はったつ}しています。その理由を答えましょう。

(1)	A	のう 脳	B	心ぞう	(2)	いる
(3)	むねのきん肉で羽を動かすために。					

(1) 頭がい骨 (ずがいこつ) が脳を守っており、ろっ骨 (ろっこつ) が肺や心ぞうを守っています。

(2) イカやタコ、クラゲなど、骨のない生き物はたくさんいます。

(3) 鳥は飛ぶために羽をはやく動かすひつようがあるので、むねのきん肉が発達しています。このように、動物は特ちょうによって発達しているところがちがいます。